

NO MORE ANIMAL TESTING

動物実験はいらない



この犬は心理的ストレス状態を引き起こす実験のために、足を繰り返しハンマーで打ち砕かれました。麻酔も何の手当もされていません。(日本の研究施設でイギリス人が撮影)

JAVA

JAPAN ANTI-VIVISECTION ASSOCIATION
NPO法人 動物実験の廃止を求める会



ヤケドの実験のためにバーナーで焼かれた犬。焼けた身体が金網につかないように中腰の姿勢をとり続け、横になって休むことができない。



生後間もなく母親から引き離され、心理学の実験(愛情の実験)に使われる子ザル。まぶたを縫い合わされ、脳に電極を差し込まれている。

©PETER HAMILTON/LIFE FORCE

©PETER HAMILTON/LIFE FORCE

日本の大学の研究施設で、イスに固定され、脳の実験に使われるサル。フランスの研究者により、扱いが残酷であると告発され、世界的に非難を浴びた。



猫は神経を調べる実験によく使われる。餌箱に入ってしまうほど小さかった子猫のアロパールも、実験のために短い一生を終えた。



化粧品のドレイズテスト。この実験では、ウサギの眼に化粧品の原料などを注入し、眼がつぶれていく様子を観察する。

タバコの影響を調べるために、たくさんの動物が連続喫煙の実験の犠牲になっている。



©CFI



アメリカの自然史博物館で続けられていた実験。この猫は眼球を摘出され、頭・上あごを脳定位固定装置で締め付けられて、死ぬまで生殖器の神経に電気ショックを与え続けられた。1年におよぶ市民の反対運動によって中止になった。

動物実験ってどんなもの？

動物実験は、医学研究や新薬開発だけでなく、化粧品、日用品、食品添加物、農薬、工業用品など化学物質の安全性試験や、生理学、栄養学、生物学、心理学などの基礎研究、大学や学校といった教育現場における実習、あるいは兵器開発などの軍事産業まで、私たちが暮らす社会のあらゆる分野で行われています。

マウスやラット、モルモットはもとより、犬や猫、ウサギ、ヒツジ、ヤギ、ブタ、ウシ、ウマ、鳥類、魚類、さらにはサルやチンパンジーなどの霊長類に至るまで、実験に使わ

れる動物の種類は多岐にわたり、世界中で、毎年1億1,530万頭以上の動物が実験の犠牲になっているとされています。^{※1}

「医学の進歩のため」「科学の発展のため」といった大義名分のもと、動物を肉体的にも精神的にも痛め、傷つけ、苦しめ、殺してしまうのが動物実験です。

その残酷な実態は内部告発や潜入調査などでほんの一部が表に出ることはあっても、依然として密室の中で行われ続けているのが現状です。

※1 Katy Taylor, Nicky Gordon, Gill Langley and Wendy Higgins, 'Estimates for Worldwide Laboratory Animal Use in 2005', *Alternatives to Laboratory Animals*, 36(3), 327-342, July 2008

教育のため？

日本の教育現場においては未だに、大学の医学部・獣医学部・薬学部・栄養学部や小中高校などで、解剖実習をはじめとした様々な動物実験が行われています。そこでは、動物の命は「実験材料」「モノ」として扱われます。このような、「命の尊厳」を踏みにじる行為が、そのまま医療の現場に持ち込まれるため、患者の命さえも複雑に扱う生命軽視の医療につながっていくのです。また、小中高校生は、解剖実習によって、動物(他者)の苦痛や命に対する感覚を麻痺させてしまうこともあるため、青少年の人格形成に悪影響を及ぼすと言われています。^{※2}

※2 Jan Oakley (2013) 「ANIMAL DISSECTION IN SCHOOLS: LIFE LESSONS, ALTERNATIVES AND HUMANE EDUCATION」 他

安全のため？

化粧品や日用品、食品添加物から、農薬や工業用品に至るまで、「安全性を調べるため」といった名目のもと、動物に化学物質を飲ませたり、有害物を皮膚に塗ったりといった実験が行われています。ところが、動物実験によって「安全」とされたはずが、後に事故が起こり、人体や環境への危険性が明らかになった化学物質は数多くあります。



急性毒性実験で毒物を飲まされて苦しむ犬。自分の血で汚れた床の上でふるえ、目からも血を流している。

医学のため？

医学研究における動物実験では、人間の病気に似たような症状をむりやり動物の体に作りだし、不自然に病気にさせられたその動物を人間にみたくて治療法の実験などを行います。本来医学とは、病気の体を治療し命を救うためのものです。それとは反対に、健康な体を病気にさせ殺してしまうのが動物実験です。私たちは長い間、「動物実験は医学の進歩のために必要だ」と思い込まされてきました。しかし、動物実験によって病気が治ると期待された薬や治療法によって、サリドマイド(睡眠薬)やスモン(整腸薬)のような数々の痛ましい被害がもたらされてきたのです。

動物実験で人間を救うことはできません

人間と動物では体の構造や代謝機能などに違い(=種差)があり、化学物質への反応が異なります。さらに、人間が病気にかかる主な原因は生活環境や食生活、遺伝、ストレスなどであるため、動物を人間に置き換えることはできません。

そのため、「動物実験で得られたデータの多くは人間にあてはまらない」「動物実験のデータが逆に治療へ誤った知識をもたらし、医学の進歩を遅らせている」と主張する医師や専門家も増えています。

「人間のがんをマウスに移植して行う実験が人の治療に役立ったという記録はなく、そのような実験から臨床試験に進んだ抗がん剤の95%は市場に出ることがないと推測されている。実際、私が知っているだけでも、人の反応を予測することができずに判断を誤らせることになった動物実験が山のようにあった。」

米国立がん研究所がん生物学部門長/ヒトがんのマウスモデルコンソーシアムのトップ
シェリル・マークス博士(「The Scientist」2010年4月1日号)

動物実験の過ちを、多くの科学者が指摘しています

■突然変異物質を見つけるサルモネラ菌テスト(エームス法)で、ラットの細胞のかわりにヒトの細胞を使うと、結果が大きく異なることがわかった。魚の焼けこげ物質の変異の起こしやすさは数十倍も過大評価されていた一方、ディーゼルガス中の成分などは、過小評価されていた可能性がある。調べたのは、化学・製薬企業ら25社と、薬開発研究のため米国のヒト臓器をあっせんするHAB協議会が参加したグループ。(「朝日新聞」2001.5.31)

■1980年の時点で、マウスなどげっ歯類に対して発がん性を有する化学物質は約1,600種類あったが、そのうちヒトに対して発がん性があったのはたった15種類であった。(Ray Greek and Niall Shanks著「FAQS ABOUT THE USE OF ANIMALS IN SCIENCE A handbook for the scientifically perplexed」, 2009年)

■バイオックスという関節炎治療薬は、動物実験では心臓に安全で有益であるとされたが、市販後32万人が心臓発作や心不全を起こし、うち14万人が死亡したため、2004年に全世界の市場から回収されるに至った。

(MRMC発行「A Critical Look at Animal Experimentation」, 2006年)

動物実験に反対する医師や科学者などの団体

- Antidote Europe (科学的根拠のもとに動物実験に反対する研究者の団体: フランス)
- Doctors Against Animal Experiments Germany (動物実験の即時廃止を支持する医師・科学者の団体: ドイツ)
- Dr Hadwen Trust (医学研究における代替法開発・促進を行う財団: 英国)
- Humane Society Veterinary Medical Association (動物の福祉のために活動する獣医学の専門家団体: 米国)
- Physicians Committee for Responsible Medicine (責任ある医療の医師委員会: 米国)
- Pro Anima (動物実験に反対し医学研究の進歩を目指す科学者と医学者の団体: フランス) など

動物たちを苦しめない社会は 人間にもやさしい



動物を犠牲にしない代替法の研究開発が進んでいます

動物実験を基盤とした実験医学は、「動物は痛みを感じない機械だ」といった考え方（17世紀、動物機械論）から生まれ、発展してきました。しかし、近年、世界中で動物実験への批判が強まった結果、動物を使わない＜代替法＞による医学研究が盛んになってきました。例えば、化学物質に含まれる毒性や発がん性を調べるための様々な代替法（培養細胞やソフトウェアなどを用いた試験法）は、動物を犠牲にしない点で倫理的であるのはもちろんのこと、科学的にみても動物実験よりも正確なデータが得られるなど、優れた方法として研究が進められています。

生命を大切にする教育こそが今必要とされています

教育現場においては、動物実験に代わる専用のシミュレーションソフトや3D模型などを用いた様々な代替法があります。これらの方法は、何回でも繰り返せることから、生徒が自分のペースで学べるメリットもあり、欧米では普及しています。そして、解剖を行った生徒と代替法で学んだ生徒では習得した知識に差はない、もしくは、代替法で学んだ生徒の方が優秀であったことを示す数多くの論文が発表されています。^{※3} 大学についても、欧米では「動物実験はやりたくない」と主張する学生が増えた結果、臨床現場での実習を充実させたり、実際の医療行為をバーチャル体験できるシミュレータや精巧な模型を使った方法に切り替える学校が増えてきました。すでに米国とカナダにある医学校の99%以上（197校中196校）には生きた動物を用いるカリキュラムがありません。^{※4}

世界中で動物実験をなくす努力がされています

化粧品の動物実験については、1998年にはイギリスやドイツで、2013年にはついにEU（欧州連合）全域でも完全に禁止されました。さらに、OECD（経済協力開発機構）やICH（医薬品規制調和国際会議）といった国際機関の化学物質や医薬品の安全性試験ガイドラインにおいても、動物実験をはずし、代替法を取り入れる努力が進められています。これは、30年前には誰も予想しなかった進歩です。動物の犠牲をなくしていくことは、過去におびただしい数の罪もない動物たちを動物実験で苦しめてきた、私たち人間の責務と言えるでしょう。

※3 Strauss, R.T., Kinzie, M.B., "Student achievement and attitudes in a pilot study comparing an interactive videodisc simulation to conventional dissection" *The American Biology Teacher*, 56(7):398-402,1994

※4 PCRMウェブサイト「Medical School Curricula with Live Animal Laboratories」

動物実験は犯罪である。

ビクトル・ユゴー(フランスの作家・動物実験反対連盟初代議長)

動物実験は、今日、人間が神の造られた美しい生き物たちに対して犯している罪のなかでも、最も罪深いものだと思います。

マハトマ・ガンジー(インド独立の父・政治家)

もし、動物に対する実験が、動物への共感という理由によって廃止されるなら、人類は根本的な進化を遂げることであろう。

リヒャルト・ワーグナー(ドイツの音楽家)

バーゼル大学の医学部の学生だったころ、私は動物実験の恐ろしさ、そしてその野蛮さ、何よりその無益さに気づき、医学部を退学した。

カール・G・ユング(スイスの心理学者)

残虐行為とは、たとえそれが実験室の中で行われようと、医学研究という名で呼ばれようと、残虐行為であることにはかわりはない。

ジョージ・バーナード・ショー(イギリスの劇作家・批評家)

あらゆる生き物に対しあわれみの念を抱くようにならない限り、人類に平和は訪れないだろう。

アルベルト・シュバイツァー(フランスの医者・哲学者)

生物は一つの大きな連続です。人間に苦しいことは感覚のあるものにはやっぱり苦しい。人間に悲しいことは強い弱いの違いはあっても、やっぱりどの動物も悲しいのです。

宮沢賢治(詩人・童話作家)「ビジテリアン大祭」より

Love and Respect
for All Living
Creatures on Earth

JAVAは、動物の命を守るために 様々な活動を行っています

- 動物実験を行っている研究機関や化粧品会社などの企業に対して、動物実験を廃止して、動物を使わない人道的な研究方法「代替法」に転換するよう求める活動
- ICAPO(国際動物保護委員会)のアジア代表メンバー、市民団体では唯一の日本動物実験代替法学会の賛助会員として、動物実験を代替法に転換させる活動
- 全国自治体に対して、引き取った犬猫の殺処分中心の業務から、「命を救う動物行政」へ転換するよう働きかける活動
- 生まれては捨てられる不幸な命をなくすために、犬猫の不妊去勢手術を普及啓発する活動
- 毛皮に反対する国際連盟Fur Free Allianceのメンバーとして、毛皮生産の実態を広め、その廃止を求める活動
- 全国で多発している動物虐待という犯罪を防止するための活動
- パネル展やマスコミなどを通して、動物愛護意識を高めるための啓発活動
- 海外の動物保護団体と協力しての協同キャンペーン、署名活動など

グッズやチラシで動物実験反対を アピールしてください

「動物実験反対」をアピールできるオリジナルグッズや、動物実験していない化粧品メーカーを掲載した冊子「JAVAコスメガイド」などを販売しています。
ネット通販・YAHOO!ショッピング内「ジャバグッズストア」にてご購入いただけます。



<http://store.shopping.yahoo.co.jp/java-goodsstore/>

※売上のすべては、動物のためのJAVAの活動に使わせていただきます。



動物実験やその他動物問題に関するリーフレットやチラシを制作して、ご希望の方にお送りしています(送料のみご負担)。

詳しくはウェブサイトをご覧くださいか、お問い合わせください(03-5456-9311)。

動物を守る活動に参加しましょう

JAVAは1986年に設立された全国規模の市民団体です。動物実験の実態とその倫理的・科学的な過ちを広く知らせ、動物実験の廃止を求める活動を柱に、動物実験に代わる人道的な研究方法(代替法)の普及啓発活動、化粧品の動物実験反対キャンペーン、自治体の動物愛護行政を進める活動など、動物の命を守る活動を活発に展開しています。また、世界各国の動物保護団体とネットワークを持ち、世界有数の団体で組織された国際動物保護委員会(ICAPO)にはアジアで唯一のメンバーとして参加するなど、国内外の動物問題に積極的に取り組んでいます。



JAVAでは、動物実験の実態を知らせるパネル展やデモ行進なども行っています。

JAVAを応援してください

私たちは、次の3つの趣旨にもとづき活動を続けているボランティアによる市民団体です。趣旨に賛同していただける方は、ぜひ私たちの仲間になってください。

1. 動物実験の実態および倫理的・科学的過ちを広く知らせ、その廃止を訴える。
2. 動物を実験に用いることなく、その代替となる方法の確立を求める。
3. この地上に生きているすべての生き物の命が、尊ばれ大切にされることを求める。

<ご入会方法>

このリーフレットについている払込取扱票をご利用の場合、1住所・2氏名・3電話番号・4会員種別をご記入のうえ、郵便局から会費をご送金ください。

銀行(ネット含む)をご利用の場合、JAVA事務局まで1~4をご連絡のうえ、下記口座にご送金ください。

ゆうちょ銀行：〇一九店 当座0670517 口座名義：JAVA

- 一般会員：6,000円/年会費
- 賛助会員：12,000円/年会費
- 学生会員：3,000円/年会費
- 法人会員：一口50,000円/年会費

<ご寄付>

任意のご寄付もありがたく存じます。払込取扱票または銀行口座をご利用ください。

JAVA NPO 法人 動物実験の廃止を求める会
JAPAN ANTI-VIVISECTION ASSOCIATION

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町29番31号 清桜404
TEL: 03-5456-9311 FAX: 03-5456-1011
URL: <http://www.java-animal.org> E-mail: java@java-animal.org

* JAVAは特定の企業・政党・宗教とは関係のないボランティアの市民団体です。



振替払込請求書兼受領証

払込取扱票

00 東京

上段記号番号

001902	670517	金額	千	百	十	万	千	百	十	円
JAVA										
加入者名		料	金	備考						

連絡事項やメッセージをご記入ください

●ご寄付(任意) 円

●会費 に✓を、ご記入ください。

新規 継続 (初回会費は 年 月までです)

一般会員 6,000円/年

賛助会員 12,000円/年

学生会員(大学生以下) 3,000円/年

法人会員 50,000円× 口/年

おとごみ、(郵便番号)

おなま

様

日 附 印

口座番号	001902	消票記号	日 附 印
加入者名	670517	金額	円
金額	JAVA	ご依頼人	標 印

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
 切り取らないでください。

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

<入会方法>

上の払込取扱票に、住所・氏名・電話番号と会員の種別をご記入のうえ、郵便局にてお手続きください。この用紙は、寄付などのご送金にもご利用いただけます。
 * その他連絡事項がございましたら、メッセージ欄にお書き添えください。
 (キリトリ線より切りはなしてお使いください。)